

みんなの心と力を合わせて校内・地域がきれいに輝きました

PTC活動(校内外クリーン作戦) ご協力ありがとうございました

1・3年生 通学路の清掃



2年生 河川敷の清掃



1年生 グラウンドの草抜き



9月11日(土)午後、授業参観後に、本校初の「校内外の清掃活動(クリーン作戦)」(PTC活動)が、多くの保護者の方(約140名)・地域の方々(約30名)のご協力を得て、全生徒・全教職員とともに、暑い中行われました。校内は、グラウンドの側溝の土上げ、体育館・梅香館周辺、植え込み、グラウンド等の草抜き、校外は、通学路・中八木公園・太田川河川敷(道路)のゴミ拾い等に取り組みました。

どのクラス・班も、保護者、地域の方々、教職員と協力して、たくさんのゴミを拾い、草を抜き、土をあげました。至る所の植え込みが本当にきれいになりました。側溝も側溝として蘇りました。河川敷や公園も限りはないのですが、目に付く大まかなゴミを拾うことができました。

今回の校内外クリーン作戦は、P(保護者)T(教職員)C(生徒)行事として、地域の方々にもお力添えをいただいて、清掃活動という協働の作業を通して、「ふれあい」を深めながら、心と力を合わせて、校内外をきれいにしようという目的で実施しました。確かに、約670名が、1時間程清掃活動をすることで、本当に見違える程にきれいになりました。また、達成感や普段は味わうことのできない喜びを感じる事ができたと思います。

生徒会長 三河内君 あいさつ



しかし、一方で「全員で協力する」ことや、「保護者の方や地域の方々とのふれあいを深める」ということについては、課題があったようです。確かに、暑い中での清掃という地道な作業だったので、集中力や体力を要することだったと思いますが、「ねらい」を明確にしたり、全員で協力したりふれあいを深めたりするような「取組方の工夫」が必要だったのかもしれない。このことについては、生徒、保護者、地域の方々のアンケートを整理して、来年度以降に生かしていければと思います。



1・3年生 側溝の土あげ

いろいろと課題はありますが、城山北中学校の新たな取組のスタートとして、多くの生徒が一生懸命に取り組み、多くの保護者、地域の方々にご参加いただいたことが、何よりの成果だと思います。今回の取組をきっかけとして、保護者、地域、教職員が一体となって、生徒とふれあい、生徒のがんばりを励まし、認め、友達や地域(社会)に役に立つことに生きる喜びや満足感を見いだすことができる生徒を育てることに尽力していきたいと考えています。今後ともPTC活動の充実に向けてご理解とご支援をお願い致します。 → 裏面へ

【生徒の声】

【1年男子生徒】

清掃の時は暑かったけど、地域の人たちやクラスのみんなと一緒にやるととても楽しかった。1年4組がやっていたところはゴミはあまりなかったからよかったけど、草がいっぱい生えていたから疲れた。清掃をしている時は、地域の人たちと色々なことを話したので楽しかった。

【1年女子生徒】

地域の方と清掃をして学校がきれいになっただけではなく、ふだん話さない地域の方と話をしたり、友達と協力し合いより絆が深まったと私は思いました。このことをきっかけに、地域の人とあいさつをしたり落ちているゴミを拾ってみたりと生活の方にも役立てていきたいなと私は思いました。このようなことが続くときれいになるし、地域の人とも関係がよくなってくるんじゃないかなと思いました。

【2年女子生徒】

ゴミはそんなになかったけど、草がたくさん生えていて大変だった。保護者の人や私たちが草をたくさんとることができてよかったし、とてもきれいになってやりがいがありました。たばこや花火のカスが結構ありました。私の班の袋はやぶれてしまうほど草を抜きました。みんながゴミ拾いをしていたのでいいと思いました。私もこんな活動がなかったらやらないと思うので学校でみんなで行うことを増やしたらいいと思いました。



【2年生男子生徒】

最初は地域の方々とはぎこちなかったですが、だんだん時間が経つにつれ、少しずつおしゃべりすることができ交流することができました。また、小学校の先生もいらっしやっただけで話が弾みました。地域の方々と交流するのも自分たちの地域を明るくしていくために必要だと思いました。

【3年生女子生徒】

今回のPTC活動を通して、地域の方々といろいろ話したりできたのでよかったです。最初は「暑いしやりたくない。」と思いましたが、やり始めると時間もすぐにたっていくし、自分が一生懸命にしたところは前よりはきれいになっていったのですごくやりがいがありました。地域の方々に手伝ってもらいながら土嚢袋を持って行ったりして、普段はできないようなことができたのでよかったです。

【保護者・地域の方の声】 ○成果 ●課題

- きれいにする気持ちが持ててよかった。協力して実施することが大切だと思った。
- 美化作業にこんなに沢山の保護者が参加されていることに感心しました。
- 暑かったですが親子でよい経験ができました。いい汗でした。
- みんなで同じ目的に取り組むことはとても良いことだと思います。
- 生徒と話しをして、「ああ、こんなことに興味があるんだなあ」と発見したりしました。
- フリースロー大会よりは今回の方が達成感がありました。
- 初めてのことでしたが、これからも続けた方がいいと思いました。 など
- 暑いということで実施時期を変えるべき、道具の不足、段取り不足 など

〈中国新聞夕刊 H23. 9. 12〉

生徒ら地元清掃
広島城山北中
広島市安佐南区の城山北中の生徒が10日、校内や学校近くを清掃した。保護者と教諭、生徒が連携するPTC活動の一環で、初めての試み。
1〜3年の約450人を含む約670人が参加。約1時間汗を流した。校外を担当した生徒は、太田川河川敷や近所の公園、道路などで空き缶やビニールごみ、たばこの吸い殻などを拾い集めた。雑草を鎌で刈ったり、手で抜いたりもした。
2年竹内章君(14)は「意外とごみがあつて疲れたが、きれいになってよかった」と話していた。